

陽だまり

冬
2009 51号

病院の基本理念と基本方針

基本理念

最新最高の医療を、安全に提供する公的医療機関として能登全域の住民の健康を守ります。

基本方針

- 1 患者の皆さまの立場を第一に考えた医療を目指します。
- 2 たゆまぬ研鑽をととして医療水準の向上を目指します。
- 3 最良でより高度な急性期医療を目指します。
- 4 医療機関との連携を密にして地域医療の推進を目指します。
- 5 公的病院を堅持しつつ健全な病院経営を目指します。
- 6 チーム医療に徹し、全職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

県立田鶴浜高等学校衛生看護科は、5年一貫で看護師を養成し、地域医療の担い手として、幅広く看護の分野で活躍できる人材を養成しています。

公立能登総合病院敷地に実習棟が隣接していて、2年生から本格的に実習が始まります。

表紙の写真にあるように、病棟で足浴の実習をしたり、食事の介助をしたり、現場の指導者の看護師からの指導を受け、医療人としてふさわしい人間性を磨くべく、日々実習に取り組んでいます。

(撮影：入江 賢行)

予防しましょう 糖尿病と動脈硬化

今月の先生

内科医長

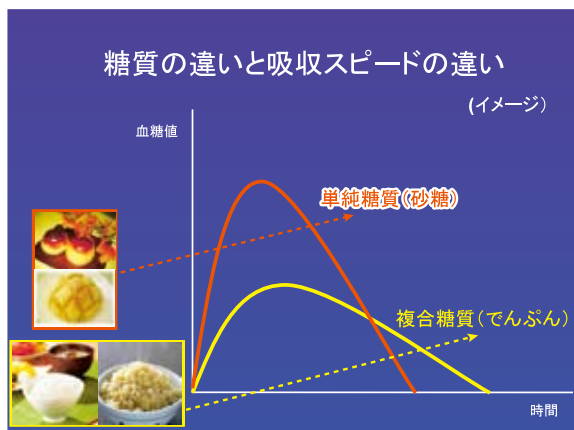
横山 将嘉先生



糖尿病はいまや国民病であり、糖尿病予備軍まで含めるとその規模は2,210万人にもなると推計されています。国内の糖尿病の患者数は、この40年間で約3万人から900万人程度にまで膨れ上がってきており、その背景には、コンビニエンス・ストアやファーストフード店の急増が関係しているようです。

糖尿病は全身の血管をボロボロにしてしまう病気です。糖尿病3大合併症（網膜症・腎症・神経

図1



症)は血糖値に依存しており、血糖値が高いほど、より強く障害されます。特に網膜症は最終的に「失明」という、日常生活を一変させてしまう危険性をはらんでいます。網膜症の病状と視力とは関係ありませんので、糖尿病患者さんは無症状でも必ず定期的に眼科を受診してください。

また最近では、軽症糖尿病患者さんでも心筋梗塞・脳梗塞を起こすことが問題となっています。その要因は食後高血糖であり、食後の急峻な血糖上昇(グルコース・

スパイク)が大きいほど、血管がより強く障害されることがわかってきました。したがって、消化・吸収の早い砂糖類(単純糖質)の摂取は、たとえカロリーが僅かであつても食後の急激な血糖上昇を引き起こします。(図1)

「ちよつとくらい・・・」と甘いものを食べていませんか?その一口が心筋梗塞・脳梗塞の誘因になるかもしれません。御注意ください!

こうした食後高血糖の他に、糖尿病性大血管障害(心筋梗塞・脳梗塞など)における重要な危険因子には、(1)悪玉コレステロール(LDL)の増加、(2)善玉コレステロール(HDL)の低下、(3)高血圧、(4)喫煙などがあります。この中でも特に重要なのが、LDLとHDLのバランスである事が最近明らかとなってきました。少なくとも、現在の動脈硬化をそれ以上進展させないためには、LDL/HDL比を2.0未満に保つ必要があります。この新しい動脈硬化の指標をみなさんも是非、御活用ください。

最後に肥満・メタボ対策ですが、現在の体重を5%程度低下させる

だけで、高血糖、高血圧、脂質異常症はかなり改善できます。決してあせらず、ゆつくり減量していきますましょう。減量に努力・根性・気合などは必要ありません。毎日の体重や食べたものを記録しておくだけで自分の食生活を自己分析でき、問題点が自然と見えてきます。こうした自己分析なしに、突然ダイエットを始めても必ず失敗します。自分の食生活を振り返るところからはじめてください。

追伸(左記)私の所属する研究室より新しいダイエット本が出ています。是非参考になさって下さい。

**いよいよ
発売開始!**

そのダイエット
Team DiETに
任せなさい!

**Team DiET式
ランチョンマット法
ダイエットレシピが
一冊の本に
なりました!**

A5版●88P ¥1,575(税込)
お近くの書店、コンビニで。

金沢大学附属病院 Team DiET
ランチョンマット法
横腹ダイエットレシピ

減量に
根性は
いりません!

監修●Team DiET
発行●北国新聞社

入院中の食を預かる黒子？

Ⅲ 栄養部 Ⅲ

管理栄養士・栄養士・調理師・調理員が毎日の食事や栄養面のお手伝いをさせていただき、入院中の楽しみ【食】を通じて皆様の支えとなる様日々頑張っています。

《栄養部の基本方針》

個人要望に対応した

『きめ細かい食事提供』

地元食材を取り入れた

『安心・安全な食事の提供』

他職種と協働した

『栄養管理』

《栄養部での取り組み》

当院には220種類の食種があり、患者様一人一人に合った食事を提供しています。また旬の食材や催事を取り入れた行事食を年24回実施しています。



あじさい弁当（6月）



クリスマス（12月）

●地域特産物を使用した料理の提供
現在中島菜のうどんや古代米を使用した料理を取り入れています。



中島菜うどん



古代米カレー

※その他に沢野ごぼう・もずく・金時草・能登娘などを使った献立を考案中です。

●きめ細かい対応の食事

患者様の状態に合わせた『主食の種類や量の選択』、食べられない食品を変更する『禁止食品の代替え』、刻み・みじん・ペーストなどの『形態別コメント』、不足の栄養素を補う『栄養補助食品』など約329種類の様々なコメントに対応しています。

患者様に合った食事の提供により、栄養状態や病態の回復への手助けになればと思います。

●調理師による病棟訪問

嗜好調査や要望に応じて病棟までお伺いしています。患者様に接する事で情報を得たり、病気と食事の関係をより理解し、今後の技術向上・創意工夫につなげています。

●食欲のない患者様への食事工夫

化学療法中や悪阻など食欲のない患者様の嗜好を聞き取る時に患者様がイメージしやすいよう料理の写真アルバムを作成し、その中から食べられそうな料理を選んでもらい提供しています。



《栄養相談》

栄養部では入院・外来問わず糖尿病・高脂血症・メタボリックシンドロームなどの生活習慣病や、腎臓・肝臓・消化器疾患などに関する食事療法の相談に応じています。また糖尿病教室（毎週金曜日・午後一時半・三週目の昼食会は正午から）を開催しています。申し込みは予約制になっており医師の指示が必要です。お気軽にご相談下さい。

調理師が考案した
食べやすい“おはぎ”
を紹介します



のみこみやすい “和スイーツ”



★材料（1人分）

全粥	85 g	きな粉	5g
水	25 g	砂糖	3g
ソフティア（ゲル）※	2.5g	塩	0.4g
		こしあん	50g
		水	10g
		ソフティア	1.2g

エネルギー 180 kcal 塩分 0.4 g
たん白質 3.6 g

※液体、ミキサー食、粥などのゼリーを作るための材料です

CLOSE UP かかりつけ医

かじ内科クリニック

副院長 **かじ たけかず 鍛冶 武和 先生**

平成21年最初の連携医療機関のご紹介は、平成19年5月に中能登町旧鹿島町二宮で新築移転「かじ内科クリニック」として新たにスタートし、鍛冶武文院長とともに診療をなさっておられる、鍛冶武和副院長にお話をお聞きしました。



1. 良いお年をお向いになられた事と存じますが、お正月はどのような過ごしされましたか。
元旦は、家族と近くの神社で初詣に出かけました。2日、3日は毎年恒例の「家族・親戚一同で和倉温泉に一泊」温泉につかりながら、久しぶりにゆったりとした時間を過ごしました。



2. 先生は、この地にもどられて診療をなさっています。昔と比べてまわりの様子は変わりましたか。
昔は、周りには田畑ばかりで、のんびりした風景が見渡されたのですが、近年、造成された土地に住宅が建ち、随分様変わりしたように思います。でも、近所の人達には昔とかわらない温かい気持ちで向かえていただき感謝しています。故郷はやっぱりいいですね。

3. 日頃から患者さんや家族に心掛けておられることはありますか、座右の銘はありますか。
職員や家族間では、和やかでアットホームな関係作りに努めています。お客様でクリニック内はとも明るく、みんな仲がいいのが当クリニックの自慢です。雰囲気の良い職場は自然と患者さまに対しても心のある対応ができる様に思うのですが。

4. 休日はどういうようにしてお過ごしですか。
家族と金沢へよく出かけます。映画を見たり、おいしい食事をとり、温泉に入つてゆっくりしたりと、結構ストレスの解消になっています。

5. 先生のご趣味はなんですか。

時間がある時は、子供と釣りに出かけます。たまたまある機会に、釣竿を揃える機会があり、ルアー釣りの一式をそろえました。釣り場は、七尾の崎山海岸や能登島、時には志賀町の海岸まで出かけていきます。成果は大した事はないのですが、それでも「メバル」なんか釣れたりして、結構おもしろいですよ。

6. 健康のために日頃から何か心掛けてしていますか。

昨年のクリスマスに、我が家に「Wi i」というゲームがサンタクロースから届き「Wi i Fit」や「Wi i Sports」というソフトで、家族全員で夢中になって戦ったりして、意外と日頃の運動不足解消になっています。(笑)

7. お好きな食べ物は何ですか、お酒は飲まれるのですか。

強いて言えば「お寿司」が好きです。あと好き嫌いはないです。何でもいいいただきます。アルコールの方は、ビールを少々、夕食時の晩酌が楽しみです。他の会合の時などは、日本酒や酎ハイなら少しいただいています。

8. 近年、医療崩壊が叫ばれていますが、これからの地域医療についてどう思われますか。

益々、地域連携が大切になってくると思っています。また、診療所と診療所の関係「診・診連携」も重要になってくるのではないのでしょうか。小児科・産科の医師不足、政府が出

している補助金などは、地方の病院では、該当するところはなく、あまり意味を成していないように感じます。地方に向けた医療政策が望まれますね。

9. これからは、在宅患者さんが多くなるようですが、どのように感じていますか。

在宅の患者さんは、増えていくでしょう。政府の方針がそのような方向ですから。しかし患者さんを診る家族の方々のことを考えたとき、又新たな問題が生じてきます。

10. 能登病院として「かかりつけ医」の推進をしていますが、能登病院に対するご希望がありましたらお聞かせください。

能登病院さんには、大変良くしていただいております。一つだけお願いがあります。開業医に対しての研修会を、もっと増やしていただければと思います。お互い顔の見える連携をもっと進めていきたいものです。

先生には、健康に留意され、まずまず地域医療に貢献なされますよう、当院としても微力ながらお力添えができれば幸いです。長時間に渡りお話を聞かせいただきありがとうございます。ごいまました。



外 来 診 療 予 定 表

(2009.1.1)

受付	診察室	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
受付A Tel.52-8702 ・外 科 ・整形外科 ・リハビリ科 ・歯科口腔外科	外科1	守 友	当番医	富 田	当番医	牛 島	当番医	徳 楽	当番医	古 川	当番医
	外科2	古 川		守 友		徳 楽				大学医 呼吸器外科 (第2・4)	
	外科3							牛 島		大学医 心臓血管外科	
	歯科口腔外科	寺 井 長 谷	手 術	寺 井	特殊外来 手 術	寺 井	特殊外来 手 術	寺 井	特殊外来 手 術	寺 井	特殊外来
		高 塚		長 谷 中嶋(千)		長 谷 中嶋(千)		長 谷 反 保		長 谷 反 保	
	整形外科1	中村(孝)		堀井		林(雅)		堀井		大学医	
	整形外科2	大学医		中村(孝)	装具外来 13:30～14:30	中村(孝)		林(雅)		堀 井	装具外来 13:30～14:30
	リハビリ科 第2・第4										八幡(第4) 13:30～14:30
受付B Tel.52-8703 ・内 科 ・内科胃腸科 ・循環器科 ・形成・美容外科 ・皮 膚 科	内科胃腸科	田 中		中村(勇)		中村(勇)		草 野		田 中	
	皮膚科1	藤本(晃)	藤本(晃) 藤本(光) 15:00～16:30	藤本(晃)	手術・検査	藤本(晃)	藤本(晃) 藤本(光) 15:00～16:30	大学医	大学医 藤本(光) 14:00～15:30	藤本(晃)	手術・検査
	皮膚科2	藤本(光)		藤本(光)		藤本(光)		藤本(光)		藤本(光)	
	形成外科1	山 城 (初診)		瀬 戸 (初診)	手 術 13:00～15:30 予約診療 15:30～16:30 小学生～高校生	山城(初診) 8:30～10:00	手 術 11:00～17:00	山 城 (初診)	手 術	瀬 戸 (初診)	
	形成外科2	瀬 戸 (再診)		山 城 (再診)		瀬戸(再診) 8:30～10:30		瀬 戸 (再診)		山 城 (再診)	
	美容外科			山城/瀬戸 13:00～16:30							
	内科1	村 本 初診	当番医	横 山 初診	当番医	草 野 初診	当番医	藤 岡 初診	当番医	中 島 初診	当番医
	内科2	藤 岡 (腎・高)				藤 岡 (腎・高)				藤 岡 (腎・高)	
	内科3	篠 崎 (腎・膠)				大 畑 (血内)					
	内科4	横 山 (糖尿病)		村 本 (糖尿病)		横 山 (糖尿病)		中 島 (腎・糖)		村 本 (糖尿病)	
	循環器科	村 田		村 田		村 田		村 田		村 田	
	内科6	進 宅 (循環器)		中 島 (腎・糖)		進 宅 (循環器)		進 宅 (循環器)			
受付C Tel.52-8704 ・神経内科 ・脳神経外科 ・眼 科 ・耳鼻咽喉科	神経内科1	坂 井 初・再診		坂 井 初・再診		訪問診療		坂 井 初・再診		坂 井 初・再診	
	神経内科2					浜 口 初・再診					
	耳鼻咽喉科1	坂 本	坂 本 14:30～16:30	坂 本	手術・検査	坂 本	坂 本 14:30～16:30	坂 本	手術・検査	坂 本	手術・検査
	耳鼻咽喉科2							山 本		北 村	
	脳神経外科1			林(裕) 第2のみ						林(裕) 第2以外	
	脳神経外科2	橋 本		塚 田		橋 本		塚 田		橋 本	
	眼科1	佐 伯	検 査	佐 伯	手 術	佐 伯 (予約のみ)	検 査	佐 伯	手 術	佐 伯	検 査
	眼科2	辻 屋		辻 屋		辻 屋 (予約のみ)		辻 屋		辻 屋	
受付D Tel.52-8705 ・小 児 科 ・泌尿器科 ・産婦人科	泌尿器科1	南	手 術	上 木	往 診 検査処置 入院検査 他科回診	上 木	手 術	上 木	ED外来 検査処置 入院検査 他科回診	南	手 術
	泌尿器科2	大学医 (初診)	入院検査 他科回診	川口・土山 (初診)		南 (初診)	入院検査	川口・土山 (初診)		上 木 (初診)	入院検査
	小児科1	和 田		和 田	和 田 1ヵ月検診	和 田	斉 藤 (心 臓)	和 田	当番医	和 田	
	小児科2	石 崎		馬 瀬		石 崎		馬 瀬		石 崎	
	産婦人科1			大学医 (岡)		大学医 (富澤)		藤 井		大学医 (高木)	
	産婦人科2	大学医 (藤 田)		藤 井	1ヵ月検診	藤 井		大学医 (早稲田)		藤 井	
精 神 センター Tel.52-6619 ・精 神 科	精神科1	西 村 初診・再診		西 村 再診		西 村 初診・再診	アルコール 薬物依存外来 西 村	西 村 再 診		東 間 初診・再診	
	精神科2	平 松 再診	平 松 初診・再診	平 松 初診・再診		東 間 初診・再診		平 松 初診・再診		平 松 初診・再診	
	精神科3	日 野 再診		日 野 再診		日 野 初診・再診		日 野 再診		日 野 再診	
	精神科4	東 間 初診・再診		東 間 初診・再診				東 間 初診・再診			
外来化学療法点滴室		富 田	牛 島	徳 楽	牛 島	守 友	牛 島	古 川	牛 島	牛 島	牛 島
救命救急センター		院内医師	院内医師	後 藤	後 藤	院内医師	院内医師	太 田	太 田	野 田	野 田
健診センター Tel.52-8716		草 野	中 泉	藤 岡	中 泉	中 島	藤岡・中泉	村 本	中 泉	横山(将)	中 泉
放射線科		月曜日～金曜日の午前及び午後 伊藤・中村・高仲(木) 放射線治療									
核医学		萱 野				滝					

代表 Tel. 52-6611 放射線科: (火) 南、 作業療法: 1ヵ月に1回 生田、 理学療法: 3ヵ月に1回 (金) 渡辺

●外来診療受付 (平日の時間内)
一般診療受付 午前8時30分～午前11時30分
但し、診療科によって 午前11時の科もありますので、ご留意ください。

めざす地域医療連携



「紹介患者さま」お待ちしております!!

当院地域医療連携室では、開業医の先生方から、ご紹介頂いた患者さまは、地域医療連携室で事前にカルテを準備し、診察日当日に職員が正面玄関でお待ちし該当外来までご案内をさせていただきます。

また、紹介患者さまが戸惑わないよう、正面玄関、各外来カウンターに「紹介患者さん用の案内プレート」を設置いたしました。



七尾鹿島広域圏事務組合職員採用候補者随時募集

公立能登総合病院では、現在下記職員の随時募集をしております。

・助産師及び看護師……13名程度 ・作業療法士・薬剤師……1名

また、助産師及び看護師の臨時職員も募集しております。

☎ 926-0816 石川県七尾市藤橋町ア部6番地4 公立能登総合病院経営管理部総務課 職員係(谷、北谷内)まで
TEL 0767-52-8749 (ダイヤルイン) 0767-52-6611(代表) FAX 0767-52-9225 E-mail: syomu@noto-hospital.jp

ともに地域医療に貢献しています。



明日の医療をみつめる。

株式会社 半田

- 本社 〒920-0025
金沢市駅西本町2丁目11番29号
☎(076) 222-5111(代) FAX(076) 264-2334
- 七尾営業所 〒926-0816
七尾市藤橋町巳部49番1
☎(0767) 53-8355(代) FAX(0767) 53-8330
- 富山営業所 〒939-8222
富山市蛸川342番1
☎(076) 493-8110(代) FAX(076) 494-2020
- 福井営業所 〒910-0833
福井市新保3丁目2202番地
☎(0776) 57-7181(代) FAX(0776) 57-7182

宅建業石川県知事免許(8)第1967号
(社)全国宅地建物取引業保証協会会員
(社)石川県宅地建物取引業協会会員

不動産のトータルプランナー

MAGURA

株式会社 マグ ラ



携帯電話2次元コード

ケイタイで部屋探し!

〒926-0855
七尾市小丸山台2丁目51番地
MAGURA21-3F

TEL(0767) 53-3380
FAX(0767) 52-0212
<http://www.magura.jp>

事務機器・企画・印刷・製本

有限会社 野崎商事

代表取締役
野崎 昇 賢

〒926-0172
七尾市石崎町イ部74番地
TEL (0767) 62-2457
FAX (0767) 62-3715

金沢支店

〒920-0061
金沢市間屋町2丁目8番地
TEL (076) 238-6661
FAX (076) 237-1790

フレンド荘 (グループホーム) の紹介

フレンド荘（グループホーム）は、障害がい者が数名で共同生活を送る住居型の施設で、病院を退院した後、生活訓練施設などの社会復帰施設から退所した場合などに、一人暮らしが難しい方や家庭の事情などで自宅以外での暮らしを望まれる方が利用するところです。

現在、フレンド荘は第1（男性用）、第2（女性用）の二つがあり、それぞれ定員が4〜5名、どちらも一軒家の中に、台所・風呂・トイレなどの共同スペースおよび各個人の居室があります。入居者のみなさんは、通院や薬の管理、身の回りのことはできる方がほとんどですが、世話人が日に一度訪問し、服薬や金銭管理、生活上の困りごとに関して、必要な方には個別にも支援しています。

入居者の方にグループホームについての思いをインタビューしてみました。

Q：フレンド荘に暮らしていて、共同生活について思うことはどんなことでしょうか？

か？

A：長い間みんなで一緒にいて、いろいろあるけど、「いつてきます」「たいたい」と声を掛け合うこともある。みんなで仲良く過ごしたいと思う。

Q：では、ご苦労されているところはありますか？

A：掃除や片付けは苦手ですが、共同の場所の冷蔵庫の前に当番表を貼ってやっています。

共同生活では、いろいろな苦勞もありながらもお互い助け合っているようです。近年、障がい者の方々が地域で安心して自立した生活を送ることをめざす、という世の動きがあります。フレンド荘が、地域社会との関わりのある自立した暮らしを実現するための場所の一つになることを願うとともに、ご理解と温かいまなざしをよろしくお願いいたします。



わたくしたちは公立能登総合病院と

Canon
BIG CHALLENGE
WAKITA COMPANY
FUJIFILM
ホームページ <http://www.kk-wakita.co.jp>

情報社会の進展の中で、時代は効率追求から知的創造の時代へとターニングポイントを迎えようとしています。ワキタではこのような時代に対応する医療医療機器分野を中心として、情報機器、家電、写真関連と幅広い事業分野を展開しています。今後、ワキタは「BIG CHALLENGE」を基盤にして、「BIG DREAM」「BIG HEART」「BIG TARGET」という「3B」であらわされる行動指針のもと、全社一丸となって進み21世紀の「BIG BUSINESS」への道を歩みたいと考えています。

株式会社 北陸ワキタ

七尾営業所：七尾市所口町チ6-6
TEL 0767-52-3509 FAX 0767-52-3524
金沢本社：石川県金沢市鳴和2丁目9-25
TEL 076-252-4381 FAX 076-252-4377
営業所：富山・福井
ワキタグループ (株)ワキタ商会 名古屋本社：岡崎、豊田、豊橋、岐阜、四日市、津 (株)信越ワキタ 長野本社：上田、松本、飯田 (株)ワキタラボ

<http://www.nifs.co.jp/>
食の側面から医療・福祉を
見つけ支える日清医療食品。
ヘルスケアフードサービス業界の
リーディングカンパニーです。

ヘルスケアフードの明日を考える
日清医療食品株式会社
中部支店 北陸営業所
〒920-0024 石川県金沢市西念 3-11-34
TEL 076-222-9908 FAX 076-222-9936

MATSUMOTO GLOBAL MEDICAL Inc.
医療機器・眼科器械専門商社
株式会社 松本グローバルメディカル



当社は、主に眼科関連の
医療機器・医療消耗品を販売しています。
社員一人一人が、助産師・医療機器のスペシャリストとして
万全な品質とメンテナンス体制を整えています。

〒921-8801 石川県野々市町下林4丁目520番地 TEL (076) 248-7333 (代) FAX (076) 248-7303

E-mail: ngm@giga.ocn.ne.jp URL: <http://www.ngm.coet.jp/>

みばやし
三林ゆたか
裕先生

(七尾市医師会 会長)

三林内科・胃腸内科医院 院長

地域に信頼される医療連携の構築 「顔が見える信頼関係を築くことが重要」

病院に関わる法人のトップの方と川口病院事業管理者が医療界を取り巻く現状について本音で語り合うコーナー。
第2回目は、七尾市医師会長の三林裕先生と対談しました。

※国の医療政策の下で、全国で医療崩壊が叫ばれている現状について、どのようにお感じですか。

三林 「マンパワー不足」と「国の医療費抑制」この二つの点について、大変心配していますね。

川口 当院ではこれに巻き込まれることなく、この地域の医療福祉に関係する全員、特に開業医の先生方と一丸となって協力しなければならないと思っています。

※開業医の先生方との連携こそ問題解決の道と思われませんが、医師会としてどう捉えておられますか。

三林 私が能登病院に赴任した頃の30年位前と比較してみても、病診連携の基盤は確立されたと思います。具体的には、軽症患者の外来を担当する診療所



に対し入院が必要な重症患者を担当する総合病院とが連携しあっている現状や、休日当番医制度や小児夜間診療などでの病院勤務医への支援などです。
川口 能登病院は、地域の方々の意思で設立された趣旨からこの地域の医療を守る最後の砦にしたいと思っています。
※この地域には恵寿総合病院と能登総合病院が救急などを担当し、開業医の

先生方と一緒に医療の提供を行なっておりますが、この二病院がどのような形で進んでいくのが適切とお考えですか。

三林 地域に二つの総合病院があることは、住民の皆さんにとっても、診療所医師にとっても決して悪いことではないと思います。むしろ、それぞれはこれまでの歴史があり、それぞれのよいところを活かし、切磋琢磨しながら存続していくことが望ましいと思います。医師会としても両方とも協力しあっていききたいですね。

川口 この二つの病院の一つが駄目になれば、この地域の医療はたちまち崩壊するだろうと考えています。当院も麻酔科医不足で大変な時期もありましたが、今春からは常勤の麻酔科医も確保できる見通しであります。救急にしても、小児・産科にしても二つの病院で適切に分担しているために成り立っている医療だと思っています。

三林 診療所医師は自分の専門分野でも、一次の患者さんを診断治療し、二次になると大病院に紹介するという方がほとんどだろうと思います。こんな症状の患者さんは、この病院のこの先生にお任せしようと信頼し紹介するというのが大事なことだと思いますね。
川口 能登病院としては、開業医の先

生方にどんどん逆紹介し、外来をスリム化することに取り組んでいます。まだ混雑しています。今後開業医の先生方にはまだまだ逆紹介をさせていただきたいと考えています。能登病院は、これからは急性期に特化し、入院医療に重点をおくことで、本来の力を発揮できると思っています。

今後ますます、地域医療の連携を推進し、密度の濃い地域医療連携に取り組んでいきたいと思っています。本日はありがとうございました。

